

重要 — 以下の内容をよくお読みください。

お客様と Esri の間で署名されたライセンス契約に取って代わられる場合を除き、Esri は、お客様が本ライセンス契約に記載されるすべての条件を受け入れた場合に限り、お客様に本製品の使用を許可します。本契約の条件をよくお読みください。本ライセンス契約の条件に同意しないと、本製品を利用できません。お客様が、本契約の条件に同意されない場合、下記の "使用許諾契約書に同意しない" をクリックしてください。お支払い済みの料金について、払い戻しを請求できる場合があります。

ライセンス契約書  
(E204 09/06/2012)

本ライセンス契約は、お客様(「ライセンシー」)とアメリカ合衆国カリフォルニア州レッドランズ市ニューヨーク・ストリート 380、郵便番号 92373-8100 をビジネスの場とするカリフォルニア企業、**Environmental Systems Research Institute, Inc.** (「Esri」)の間で締結される。

第 1 条 — 定義

定義 — ここに使用する用語の定義は、下記のとおりである。

- a. 「認証コード」とは、キー、認証番号、有効化コード、ログイン資格情報、アクティベーションコード、トークン、アカウント ユーザー名およびパスワード、または本製品の使用に必要なその他のメカニズムをいう。
- b. 「ベータ版」とは、アルファ版、ベータ版またはプレリリース版の本製品をいう。
- c. 「商用アプリケーション サービス プロバイダの利用」または「商用 ASP の利用」とは、ライセンシーが開発したソフトウェアを使用しアプリケーションを第三者がアクセスして利用できるようにした、ウェブサイトまたはインターネットウェブアプリケーションを通してソフトウェアへのアクセスを提供する(たとえば、サブスクリプション、サービス、またはトランザクションに課金したり、副次的な広告収入以外の収益を発生させたりする)ことで収益を得ることをいう。
- d. 「コンテンツ」は、[補遺 3](#)に定める意味を有する。
- e. 「データ」とは、Esri または第三者のデータ ベンダーが提供するデジタル データ セットをいう。この中には、ソフトウェアおよび **Online Services** にバンドルされたものであるか、または単独で引き渡されたものであるかにかかわらず、地理ベクトルデータ、ラスター データレポート、対応付けられた表形式の属性が含まれるが、それに限定されない。
- f. 「デプロイメント ライセンス」とは、ソフトウェアおよび関連する認証コードをライセンシーが第三者にサブライセンスできるライセンスをいう。
- g. 「ドキュメンテーション」とは、ソフトウェアとともに引き渡されるすべてのユーザ リファレンス ドキュメンテーションをいう。
- h. 「**Online Services**」とは、地図、データ、およびその他の情報の保存、管理、公開、使用を行うために Esri またはそのライセンサーによってホストされるアプリケーションおよび関連 **API** を含む(ただし、データまたはコンテンツを除く)、あらゆるインターネットベースの地理空間システムをいう。
- i. 「注文関連ドキュメント」とは、ライセンシーが注文する本製品を示す見積、注文、またはその他のドキュメントをいう。
- j. 「本製品」とは、本ライセンス契約の下に許可されるソフトウェア、データ、**Online Services**、ドキュメンテーションをいう。
- k. 「サンプル」とは、本製品のサンプル コード、サンプル アプリケーション、アドオンまたは拡張機能のサンプルをいう。

- l. 「サービス クレジット」とは、注文関連ドキュメントに指定された金額で **Online Services** サブスクリプションで割り当てられた交換の単位をいう。サービス クレジットにより、ライセンシーには一定の **Online Services** を使用する権利が付与される。使用できる数は、使用する **Online Services** に応じて変化する。**Online Services** を使用すると、自動的にライセンシーのアカウントからサービス クレジットが減じられる。この場合、利用可能なサービス クレジットの最大数が上限となる。サービス クレジットは、[補遺 3](http://www.esri.com/legal)(<http://www.esri.com/legal>にも掲載されている)に記載されている方法で追加購入できる。
- m. 「ソフトウェア」とは、Esri の認定ウェブサイトからアクセスまたはダウンロードされる、もしくはメディア配布された、バックアップ、アップデート版、サービスパック、パッチ、ホットフィックスまたはそのマージ版コピーを含む（データを除く）Esri 専有の一切のソフトウェアテクノロジーをいう。
- n. 「期間限定ライセンス」とは、限定期間（「期間」）に、もしくはサブスクリプションまたはトランザクションベースで使用するために提供されるライセンスをいう。

## 第 2 条 — 知的所有権、および所有権の留保

本製品は使用が許諾されるものであり、販売されるものではない。Esri およびそのライセンサーに、本製品およびコピーすべての所有権があり、これらは、企業秘密を含む知的所有権、および専有権につき、米国および関係国際法、条約、および協定によって保護されている。ライセンシーは、本製品を不正な使用、複製、配布または公開から保護するために合理的な手段を講じることに同意する。Esri およびその第三者ライセンサーは、本製品の変更、および改良権を含め、本契約で明示的に付与されないすべての権利を留保する。

## 第 3 条 — ライセンスの許諾

**3.1 ライセンスの許諾** — Esri は、(i)該当するライセンス料を支払った本製品について、(ii)ライセンシーの内部使用で、(iii)本ライセンス契約書とライセンシーが注文した構成ならびに Esri およびその認定代理店が許可した構成に基づいて、(iv)該当する期間、期間が定められていない場合は第 5 条に基づいて期間が終了するまで、該当する注文関連ドキュメントに記載された本製品を使用する個人的、非独占的、かつ譲渡不能なライセンスをライセンシーに許諾する。特定の製品には、第 4 条 — 使用範囲に加えて付属書 1 — 使用範囲(E300)が適用されるものとする。補遺 1、補遺 2、補遺 3、および補遺 4 は全体で付属書 1 — 使用範囲(E300)を構成するものとし、<http://www.esri.com/legal/pdfs>にも掲載される。

- a. ソフトウェア。[補遺 1](#)(参照することにより組み込まれる)に規定される特定のソフトウェア製品の利用規約。
- b. データ。[補遺 2](#)(参照することにより組み込まれる)に規定されるデータの利用規約。
- c. **Online Services**。[補遺 3](#)(参照することにより組み込まれる)に規定される **Online Services** の利用規約。
- d. 限定された使用を目的としたプログラム。[補遺 4](#)(参照することにより組み込まれる)に規定される、非商用、非営利、教育、またはその他の限定された使用を目的としたプログラムの利用規約。

**3.2 評価版およびベータ版ライセンス** — 評価版ライセンスまたはベータ版プログラムに基づいて入手した製品は、評価およびテストのみを目的としたものであり、商業用途を意図としたものではない。かかる使用はライセンシー自身のリスクにおいて行われるものであり、製品について Esri または代理店の保守を受けるものではない。

## 第 4 条 — 使用範囲

### 4.1 許可される使用 —

- a. ライセンシーに引き渡された本製品について、ライセンシーは以下を行うことができる。
  1. 本製品を電子記憶装置にインストールし、格納する。
  2. 保管用コピーを作成し、定期的にバックアップを取る。

3. 6 か月を超えない合理的な移行期間中に、置換されるバージョンを使用して新バージョンのソフトウェアを同時にインストールし、使用する。この場合、いずれのバージョンであっても、デプロイメント数がライセンシーのライセンス数を超えることはできない。ライセンシーはライセンシーの総ライセンス数を超えてソフトウェアを使用しないものとする。
  4. ライセンス構成にあるソフトウェアを代替マシンに移動する。
  5. デプロイメント ライセンスの使用に必要なソフトウェアおよび関連する認証コードを第三者に配布する。
- b. 商用アプリケーション サービス プロバイダの利用。ライセンシーが(i)原価回収を原則に非営利的にウェブサイト運営するかインターネットサービスを提供する公的機関および非営利団体であるか、または(ii)商用 ASP の利用のライセンスを取得するという条件で、ライセンシーは商用 ASP の利用を目的としてソフトウェアを使用できるものとする。ただし、第三者によるソフトウェアの直接使用、独自の GIS アプリケーション開発、またはソフトウェアと連動する独自のソリューション作成が可能となるように、ライセンシーが第三者に対して Esri ソフトウェアへの直接アクセスを提供することはできない。
  - c. ライセンシーは、任意の(i)マクロもしくはスクリプト言語、(ii)公開されたアプリケーション プログラミング インタフェース(API)または(iii)ソース コード ライブラリもしくはオブジェクト コード ライブラリを使用して、ドキュメンテーションに記述されているカスタマイズ範囲内でのみ、ソフトウェアをカスタマイズすることができる。
  - d. ライセンシーは、デジタル形式で提供されるドキュメンテーションを使用し、複製し、またはその派生物を作成し、且つその後、ライセンシーの組織内での使用を目的として、カスタマイズしたドキュメントの複製、展示、および再配布を行うことができる。他のソフトウェアと併合されたデジタル形式で提供されるドキュメントの一部、および印刷またはデジタル化されたドキュメントは、本ライセンス契約の制約を受ける。ライセンシーは、Esri、およびそのライセンサーの占有権を承認する次の著作権帰属通知を含むものとする。「本ドキュメントの部分は、Esri、およびそのライセンサーの知的所有権を含み、ライセンスの下に本書の中で使用されている。著作権 © [ここに、ソースの実際の著作権登録日をライセンシーが記載する]Esri およびそのライセンサー。複製・転載を禁ず。」
  - e. フォント コンポーネント。ソフトウェアの実行中、ライセンシーはコンテンツの表示および印刷にそのフォントを使用できるものとする。ライセンシーは、(i)フォントの埋め込みに関する制限事項に基づいて許可されたとおりに、コンテンツにフォントを埋め込み、(ii)コンテンツを印刷するために当該フォントを一時的にプリンタまたはその他の出力デバイスにダウンロードできる。
  - f. コンサルタントまたは請負業者によるアクセス — 第 3.1 項により、Esri はライセンシーの利益のためにのみ使用されることを前提として、ライセンシーがライセンシーのコンサルタントまたは請負業者に本製品の使用を許可する権利をライセンシーに許諾する。ライセンシーは、コンサルタントまたは請負業者が本ライセンス契約の条件を遵守し、ライセンシーの利益となる作業を完了した時点でコンサルタントまたは請負業者が本製品の使用を終了することについての責任を単独で負うものとする。コンサルタントまたは請負業者がライセンシーの利益以外に本製品へアクセスし、またはこれを使用することは禁止する。

**4.2 許可されない使用** — ライセンシーは、準拠法によりこの制限が禁止または無効にされている場合を除き、または本契約に定められている場合を除き、以下を行ってはならない。

- a. 本製品を販売、賃貸、リース、サブライセンス、貸与、譲渡、または共用する。
- b. 商用 ASP の利用またはサービス機関の目的で使用すること。
- c. 営利もしくは収益を得ることを目的として、直接もしくは間接的な方法で(広告やサイトまたはサービスへのアクセス料金を徴収するなど)サイトまたはサービスのためのソフトウェア、データ、またはドキュメンテーションの利用、サイトまたはサービスの運営を行う。
- d. ソフトウェア、データ、Online Services の全部または一部を第三者に再配布する。拡張機能、コンポーネント、または DLL を含むがこれに限定されない。
- e. 認証コードを再配布する。
- f. 本製品をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルする。
- g. 本製品へのアクセスまたは使用を制限する技術的措置を回避する試みを行う。

- h. Esri または第三者の権利(知的所有権、プライバシー権利、不当差別禁止法、その他の準拠法または政府規制下での権利など)を侵害する方法でコンテンツの保存、キャッシュ、使用、アップロード、再配布、サブライセンス、または製品の使用を行う。
- i. 本製品、本製品の出力、メタデータ ファイル、または配布されたデータまたはドキュメンテーションのオンラインページやハードコピー ページに含まれているかまたは貼り付けられている Esri またはそのライセンサーの特許、著作権、商標または所有権の表示を、取り除く、または隠す。
- j. ソフトウェア、Online Services、またはデータの個々の部分または構成部分を切り離す、または単独で使用する。
- k. 本ソフトウェアと競合する商品またはサービスに、本ソフトウェアの一部を組み込む。
- l. Esri およびそのライセンサーによる書面による事前許可なくして、ベータ版でのベンチマーク テストの実行結果を公開する。
- m. オープン ソースのライセンス条件に抵触するような方法で、ソフトウェアのコードまたはいずれかの部分を使用、組み込み、変更、配布、結合を行う、または当該コードにアクセスする。当該ライセンス条件には、(i)ソース コード フォームでの第三者への開示、(ii)派生物の作成を目的とした第三者へのライセンス付与、または(iii)無償での第三者への再配布を行うためにコンピュータ コードを必要とするライセンス条件が含まれる。

## 第5条 — 契約期間、および契約解除

本ライセンス契約は、受諾された時点で発効する。ライセンサーは、Esri に書面で通知を行うことにより、いつでも本ライセンス契約または任意の製品ライセンス契約を解除できる。契約違反をした当事者に対する書面による通知から 10 日以内に当該違反が是正されない場合、いずれの当事者も本ライセンス契約またはあらゆるライセンスを解除できる。但し、是正が不可能な契約違反については、直ちに終了できるものとする。本ライセンス契約の終了により、本契約に基づいて付与されたライセンスも終了する。ライセンスまたはライセンス契約の終了に伴い、ライセンサーは、(i)関連する製品へのアクセスおよび当該製品の使用を停止し、(ii)Online Services により取得したクライアント側のデータ キャッシュを消去し、(iii)ライセンサーが所有または管理する関連製品のすべてのコピー(変更部分もしくはマージされた部分を含む)はいかなる種類のものであってもアンインストール、削除、破棄し、かかる行為の証明書に署名し、Esri またはその認定代理店に送付するものとする。

## 第6条 — 限定保証および免責

**6.1 限定保証** — 第6条に規定されている場合を除き、Esri はソフトウェアおよび Online Services の使用を有効にする認証コードを発行した日から 90 日間、(i)修正が加えられていないソフトウェアおよび Online Services は、標準的な使用状況の下では、公開されているドキュメンテーションに合致し、(ii)ソフトウェアが提供される媒体には材料および仕上がりにおいて瑕疵がないことを保証する。

**6.2 特別免責** — 無償で提供されるコンテンツ、データ、サンプル、ホットフィックス、パッチ、アップデート、Online Services、評価版ソフトウェアおよびベータ版ソフトウェアは、いかなる種類の保証も行われず、「現状のまま」提供される。

**6.3 インターネット関連の免責** — 当事者は、インターネットは私的および公的ネットワークのネットワークであること、ならびに(i)インターネットは、安全なインフラストラクチャではなく、(ii)当事者は、インターネットを支配する手段を一切持たず、(iii)いずれの当事者も、インターネットのいかなる部分の操作の性能または中断、または Online Services の操作を限定するかまたは禁止する可能性があるインターネットの規制に関する法律の理論に基づく損害賠償の責任を負わないことを、明確に認め、これに合意する。

**6.4 一般免責** — 上記の明示的な限定的保証を除き、Esri は、商品性、特定目的に対する適合性、システム統合、および知的所有権についての非侵害に関わる保証や条件を含め、明示または暗黙を問わず、その他一切の保証を行わない。Esri は、本製品がライセンシーのニーズを満たすこと、ライセンシーによるこれらの操作は中断されない、エラーがない、耐障害性(Fault-Tolerant)またはフェイルセーフ(Fail-Safe)であること、もしくは不適合箇所がすべて訂正可能または訂正されることを保証しない。本製品は、生死、人体損傷または物理的財産/環境損壊につながる環境またはアプリケーションにて使用されることを目的としてデザイン、製造、もしくはそのような使用を意図していない。かかる使用は、ライセンシー自身のリスクと費用にて行われるものとする。

**6.5 排他的救済** — 第 6 条に定める限定保証の違反に対するライセンシーの排他的救済および Esri の全責任は、Esri の単独の裁量により、(i)欠陥のある媒体の交換、(ii)Esri 保守プログラムまたはライセンシーの認定代理店による保守プログラムの対象となるソフトウェアまたは Online Services の修理、修正もしくは回避、または(iii)Esri の限定保証を満たさないソフトウェアまたは Online Services に対して、ライセンシーが支払ったライセンス料の払い戻しのいずれかに限定されるものとする。但し、ライセンシーは、ソフトウェアまたはドキュメンテーションのすべてのコピーをアンインストール、削除、および破棄し、Online Services の使用を停止し、かかる行為の証明書に署名し、Esri またはその認定代理店に送付するものとする。

## 第 7 条 — 責任の制限

**7.1 特定の責任の免責** — Esri、認定代理店、およびそのライセンサーは、代替品もしくは代替サービスの調達費用、逸失利益、逸失販売、または事業経費、投資、仕事上の責務、信用の喪失、または本ライセンス契約もしくは本製品の使用に起因または関連して発生する間接的、特別的、偶発的または派生的損害について、どのような責任の法理においても、Esri またはそのライセンサーがかかる損害が生じる可能性について通知を受けていたか否かを問わず、ライセンシーに対して一切責任を負わない。これらの制限は、制限付き救済手段の本来の目的が達成されるか否かにかかわらず、適用されるものとする。

**7.2 責任の一般制限** — 第 8 条「侵害の補償」に規定されている場合を除き、契約、不法行為(過失を含む)、厳格責任、保証違反、不実表示またはその他を含むがそれに限定されないあらゆる訴因に起因する、本契約に基づく Esri およびその認定代理店の累積的な責任は、訴因を生じさせた本製品に対してライセンシーが支払った金額を超えないものとする。

**7.3 免責、及び制限の適用** — ライセンシーは、Esri が引き渡した本製品またはその他の製品もしくはサービスをライセンシーが受領したか否かを問わず、本ライセンス契約に定められている責任の制限および免責が適用されることに同意する。当事者は、Esri が本契約に定められている免責および制限に依存して料金設定し、本契約を締結したこと、それらが当事者間のリスク配分を反映していること、並びにそれらが当事者間での交渉の重要な基盤を形成することに同意する。これらの制限は、制限付き救済手段の本来の目的が達成されるか否かにかかわらず、適用されるものとする。

上記の保証、制限、除外は、一部の管轄区域では有効でなく、ライセンシーの管轄区域での準拠法により認められる範囲内においてのみ適用されることがある。ライセンシーには、法の下でその他の権利が付与されることがある。Esri が、ライセンシーの保証または救済方法を法律で認められない範囲に制限しようとするのではない。

## 第8条 — 侵害の補償

**8.1** Esri は、ソフトウェアまたは Online Services のライセンサーによるライセンス使用が、米国特許、著作権または商標を侵害していると申し立てる第三者による請求、訴訟または損害賠償請求によってライセンサーが被る可能性がある損失、賠償責任、費用、または合理的な弁護士料を含む経費用について、ライセンサーを防御し、それを補償し、その他損失を与えないものとする。その場合、次の条件を満たすものとする。

- a. ライセンサーは、かかる請求を書面により Esri に速やかに通知する。
- b. ライセンサーは、侵害の申立を記述する書類を提出する。
- c. Esri は、請求の防御または解決に関連する訴訟の防御および交渉を行う権利を有する。
- d. ライセンサーは、請求の防御について、Esri の要請と費用面で合理的に協力する。

**8.2** ソフトウェアまたは Online Services が米国特許、著作権、または商標の権利を侵害していることが判明した場合、Esri は、自己の費用にて(i)ライセンサーがソフトウェアまたは Online Services の使用を継続する権利を取得するかまたは(ii)実質的に変わらないソフトウェアまたは Online Services の機能を維持しながらソフトウェアまたは Online Services が違反しているとされる要素を修正するかのどちらかを行うことができる。どちらの選択肢も商業上合理的でない場合、ライセンスを解除し、ライセンサーは権利を侵害する Online Services へのアクセスを停止して、権利を侵害している品目をアンインストールしたうえで Esri に返却する。その後、第 8.1 項に従って、Esri の全法的責任によりライセンサーを補償し、(i)権利を侵害している品目に対してライセンサーが支払ったライセンス料を最初の引渡日から 5 年間の定額減価償却ベースで比例配分し払い戻し、(ii)期間限定ライセンスとメンテナンスについては、支払い済み料金の未使用部分について払い戻すものとする。

**8.3** (i)Esri から供給されたものでない、またはドキュメンテーションで Esri によって指定されていない製品、プロセス、システムとソフトウェアまたは Online Services との組み合わせや統合、(ii)Esri またはその請負業者以外の第三者によるソフトウェアまたは Online Services の重大な変更、(iii)権利の侵害を回避するために Esri によって変更が提供された後の変更していないソフトウェアまたは Online Services の使用、もしくは第 8.2 項に基づいて Esri によって返却が指示された後の使用については、Esri がライセンサーを擁護し、または結果として生じる費用、損害、直接的な権利侵害または寄与侵害を申し立てる請求または訴訟に関する弁護士費用を支払う義務は一切ないものとする。

**8.4** 上記は、第三者に帰属する知的所有権の権利侵害または権利侵害の申立に関する Esri の全責任についての記述である。

## 第9条 — 総則

**9.1 将来のアップデート** — 新規またはアップデートされた本製品およびサブスクリプションは、その時点で効力を持つ Esri のライセンス条件(<http://www.esri.com/legal/licensing/software-license.html> に掲載)に準拠して、更新されたライセンスが付与されるものとする。

**9.2 輸出規制** — ライセンサーは、ライセンサーが本製品の全部またはその一部を次に挙げる対象に対して輸出、再輸出、輸入、譲渡または配信をしてはならないことを明示的に認識し、これに同意する。(i)米国が通商を禁止している国、(ii)米国財務省の特別指定国民リストに掲載されている個人、(iii)米国商務省の取引禁止対象リストの個人または事業体、未確認リスト、(iv)かかる輸出、再輸出、または輸入が、輸入/輸出ライセンスまたはライセンス免除、並びに適宜追加される修正条項および補足追加条項を含む米国の法律、現地法、またはその他の適用される輸入/輸出管理法または規制に違反する個人、団体、または国。

**9.3 税金および手数料、運送費** — ライセンサーに対して価格提示されるライセンス料においては、すべての税金または手数料が除かれる。かかる税金または手数料には、物品税、使用税、付加価値税(VAT)、関税または通関税、並びに輸送費および取扱手数料が含まれるがそれだけに限定されない。

**9.4 暗黙の権利放棄** — 一方の当事者が本ライセンス契約のいずれかの条項を執行しなかったとしても、かかる条項の権利放棄、またはその後においてかかる条項若しくはその他の条項を執行する当該当事者の権利放棄とみなしてはならない。

**9.5 分離** — 当事者は、本ライセンス契約のいずれかの条項が、理由を問わず執行不能と判断された場合、文言の意図内容を執行可能にするのに必要な範囲についてのみ、かかる条項が修正されることに同意する。

**9.6 権利相続人、および譲受人** — ライセンシーは、Esri の書面による事前の承諾なく、本ライセンス契約下のライセンシーの権利譲渡、サブライセンス許諾または移転、若しくはその責任を委譲してはならない。承諾がないものについては無効とする。本ライセンス契約は、本ライセンス契約の当事者それぞれの権利相続人および譲受人に対して拘束力を持つものとする。上記にかかわらず、政府との契約に基づいて、本製品を入手する政府関係契約者は、政府の顧客が本ライセンス契約の条項に同意した場合、Esri に書面で通知を行った上で、本ライセンス契約に基づく自身の権利を政府の顧客に譲渡することができる。

**9.7 契約条件の存続** — 本ライセンス契約書の第 2 条、5 条、6 条、7 条、8 条、および 9 条の条項は、本ライセンス契約の期間満了後または解除後も存続するものとする。

**9.8 衡平法上の救済** — ライセンシーによる本ライセンス契約のいかなる違反も回復困難な損害をもたらすこと、およびかかる違反が発生した場合、法律に従ったすべての救済措置に加えて、Esri が、救済の条件として保証金の供託または損害の証明を義務付けられることなく、管轄権を有する裁判所において差止、特定履行または衡平法上の救済措置を請求する権利を持つことにライセンシーは同意する。

**9.9 ライセンシーが米国政府機関の場合** — 本製品は市販品であり、自費で開発され、本ライセンス契約に基づいてライセンシーに提供される。ライセンシーが米国政府機関または米国政府関係の契約当事者である場合、Esri は FAR 12.211/12.212 項または DFARS 227.7202 項に基づき、本ライセンス契約に従って、ライセンシーが本製品を使用することを許諾する。Esri のデータおよび Online Services については、同項 227.7202 の規定に基づき、DFARS の条件下で取得される商用コンピュータ ソフトウェアとしてライセンスが付与される。本ライセンス契約における商用ライセンスに関する権利は、ライセンシーによる本製品の使用、複製または開示を厳密に規定している。Esri ソフトウェアのソース コードは非公開であり、本製品に対するすべての権利は Esri およびそのライセンサーにより留保される。ライセンシーは、ソフトウェアがインストールされたコンピュータが譲渡されライセンスが付与された任意の政府調達機関に、ソフトウェアを譲渡できる。裁判所、仲裁人または審議会が、公的調達に関連する準拠法に基づいて、ライセンシーが本製品のいずれかの部分に対してさらに広い権利を有すると判断した場合、かかる権利の拡大は影響を受ける部分のみに適用されるものとする。

#### **9.10 準拠法、仲裁 —**

- a. アメリカ合衆国、領域、および周辺地域のライセンシー。本ライセンス契約は、米国連邦法が知的所有権に関する事柄を統治している以外、抵触法の原則を考慮することなく、カリフォルニア州法に準拠し、これに従って解釈されるものとする。第 9.8 項に規定されている場合を除き、本ライセンス契約またはその違反に起因または関連して発生し、協議により解決することができない紛争は、米国仲裁協会の商事仲裁規則に従って最終的に解決するものとする。仲裁人によって下された仲裁判断は、管轄権を有する裁判所で執行判決を得ることができる。ライセンシーが米国政府機関の場合、本ライセンス契約は、本条項の仲裁規定の代わりに、修正も含めた 1978 年契約紛争法(Contract Disputes Act) (41 USC 601–613)に従うものとする。本ライセンス契約は、国際動産売買契約に関する国際連合条約に準拠しないものとし、その適用を明示的に除外する。
- b. その他のすべてのライセンシー。第 9.8 項に規定されている場合を除き、本ライセンス契約またはその違反に起因または関連して発生し、協議により解決することができない紛争は、国際商工会議所の仲裁規則に基づいて、かかる規則に従って指名された 1 名の仲裁人によって最終的に解決するものとする。仲裁の言語は英語とする。仲裁は、当事者が合意した場所で行うものとする。本ライセンス契約は、国際動産売買契約に関する国際連合条約に準拠しないものとし、その適用を明示的に除外する。一方の当事者は、他方当事者の要請があった場合、紛争の重要点に関連する書類または証人を提供するものとする。

**9.11 保守** — 対象となるソフトウェアまたはデータのメンテナンスは、アップデート版や Esri またはその代理店の最新のメンテナンス方針に明記されたテクニカルサポートの利用といったその他の利点からなる。

**9.12 フィードバック** — Esri は、製品の改良についてライセンシーが Esri に送信したフィードバック、提案、要望事項を自由に使用できるものとする。

**9.13 特許** — ライセンシーは、いずれかの Esri テクノロジーやサービスに基づいた、若しくは組み込んだ特許または類似の権利を世界中で求めてはならず、その他如何なるユーザが求めることを許可してならない。特許に関するこの明示的禁止は Esri テクノロジーやサービス、若しくはその一部が特許出願や類似申請での請求項や本発明を実施するに際して最適な態様の一部となる場合を除いたライセンシーのソフトウェアやテクノロジーには適用されない。

**9.14 完全合意** — 付属ドキュメントを含む本ライセンス契約は、本書に定める主題に関する当事者間の唯一、且つ完全な合意を構成し、かかる主題に関連して本ライセンス契約締結前に両当事者間で交わされた一切の合意、了解、および取り決めに優先する。発注書、請求書、または注文プロセスで交わされたその他の標準的な書式の文書に記載されている追加または相反する条件(製品説明、数量、価格、配送に関する指示を除く)は無効であるものとする。本契約の修正または変更は如何なるものも書面によるものとし、それぞれの当事者が署名しなければならない。

付属書 1  
使用範囲  
(E300 12/07/2012)

補遺 1  
ソフトウェア利用規約  
(E300-1)

ソフトウェア利用規約の補遺(「補遺 1」)では、ライセンシーによるソフトウェアの利用規約を規定する。また、ライセンシーの基本ライセンス契約書、または <http://www.esri.com/legal/software-license> に示されるライセンス契約書(「ライセンス契約書」)がある場合には、参照することにより組み込まれるものとする。本補遺 1 はライセンス契約の条件に優先する。

**第 1 節 一定義**

ソフトウェアは、ライセンシーが注文する本製品を示す見積、注文、またはその他のドキュメントに規定される、以下のライセンスの種類に基づいて提供されることがある。

1. 「同時使用ライセンス」とは、ネットワーク上の複数のマシンにソフトウェア、データ、およびドキュメンテーションをインストールして使用するライセンスをいい、暫定的なフェイルオーバーのサポート用として別の OS 環境で、同時使用ライセンス マネージメント ソフトウェアのフェイルオーバー インスタンスを同数稼動する権利を含む。但し、同時に使用するユーザの数は、ライセンスの取得数を超えてはならない。
2. 「デプロイメント サーバ ライセンス」とは、「ステージング サーバ ライセンス権」に加え、同一マシンまたは他のマシンの複数ユーザに対してサービスを提供するためにライセンシーがソフトウェアまたはデータをインストールし使用することができるライセンスをいう。
3. 「開発サーバ ライセンス」とは、ドキュメンテーションに説明されているように、サーバ ソフトウェアのインタフェースとして機能し、または利用をするアプリケーションの設計・構築を行うために、ライセンシーが 1 台のマシンにソフトウェアをインストールして使用できるライセンスをいう。
4. 「単独使用ライセンス」とは、ライセンシーが、認定エンドユーザ 1 名に対し、本ソフトウェアがインストールされているマシンで、ソフトウェア、データ、およびドキュメンテーションが使用できるように、本ソフトウェア、データ、およびドキュメンテーションを 1 台のマシンにインストールし、使用することを許可できるライセンスをいう。ライセンシーは、認定エンドユーザ 1 名に対して、本製品のコピーが一度に 1 部のみ使用される場合に限り、当該エンドユーザが 2 台目のマシンで使用する 2 つめのコピーをインストールすることを許可できる。その他のエンドユーザは、その他のいかなる目的であっても同一ライセンスで本製品を使用してはならない。
5. 「ステージング サーバ ライセンス」とは、「開発サーバ ライセンス権」に加え、ユーザ承認試験、性能試験、他の第三者作製のソフトウェアの負荷試験、新規商用データ更新のステージングおよび研修活動を目的としてライセンシーがソフトウェアをインストールし使用することができるライセンスをいう。
6. 「期間限定ライセンス」とは、限定期間(「期間」)に、もしくはサブスクリプションまたはトランザクションベースで使用するために提供されるライセンスをいう。

## 第2節 — 特定のソフトウェア製品の利用規約

該当する注文関連ドキュメントで特に断りのない限り、ソフトウェアの機能拡張は、対応するソフトウェアに対して許可される使用範囲に準拠する。特定のソフトウェアは、下記の条件に従うものとする。

<p><b>デスクトップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>▪ Address Coder (22、<a href="#">補遺 2、注 7</a>)</li><li>▪ ArcExplorer—JavaおよびWindows Editions (20、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>▪ ArcGIS for Desktop (Advanced、Standard、Basic) (26、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 6</a>)</li><li>▪ ArcGIS Explorer Desktop (20、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>▪ ArcGIS for AutoCAD (20)</li><li>▪ ArcLogistics<ul style="list-style-type: none"><li>– Desktop (<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 2</a>)</li><li>– Using ArcGIS Online (20、46、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>– Using ArcGIS for Server (20、46、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>– Navigator (46、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 2</a>)</li></ul></li><li>▪ ArcPad (12、13、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 2</a>)</li><li>▪ ArcReader (20、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>▪ ArcView 3.x および Extensions (17)</li><li>▪ Esri Business Analyst (<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 4</a>)</li><li>▪ Esri Maps for Office (<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>▪ Sourcebook•America (20、<a href="#">補遺 2、注 8</a>)</li><li>▪ ArcGIS for Windows Mobile (15、54、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>▪ ArcGIS for iOS、ArcGIS for Windows Phone、ArcGIS for Android (<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li></ul> <p><b>サーバ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>▪ ArcGIS for Server<ul style="list-style-type: none"><li>– Workgroup (8、9、28、29、30、32、38、39、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 6</a>)</li><li>– Enterprise (8、9、27、31、38、39、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 6</a>)</li><li>– Cloud Bundle (10、<a href="#">補遺 3</a> — 共通の条件)</li></ul></li><li>▪ ArcGIS for Server Extensions<ul style="list-style-type: none"><li>– ArcGIS for INSPIRE (8、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ Esri Business Analyst Server<ul style="list-style-type: none"><li>– Workgroup (8、9、28、29、30、31、39、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 4</a>)</li><li>– Enterprise (8、9、27、31、39、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 4</a>)</li></ul></li><li>▪ Portal for ArcGIS (31、61、62、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>▪ Esri Tracking Server (31)</li><li>▪ Esri Maps for IBM Cognos (53)</li><li>▪ Esri Maps for SharePoint (<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li></ul> <p><b>開発者ツール</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>▪ ArcGIS Runtime SDK for iOS、Windows Phone、Windows Mobile、またはAndroid (16、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>▪ ArcGIS Engine Developer Kit and エクステンション (16、22、26)</li><li>▪ ArcGIS Engine for Windows/LinuxおよびExtensions (15、22、26、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 6</a>)</li><li>▪ ArcGIS for Windows Mobile Deployments (15、54、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>▪ ArcGIS Runtime (18、59、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>▪ ArcGIS Runtime SDK (16、60、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>▪ ArcGIS Web Mapping (ArcGIS API for JavaScript/HTML5、ArcGIS API for Flex、ArcGIS API for Microsoft Silverlight、ArcGIS API for WPF を含む) (15、16、64、66、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>▪ Esri Business Analyst Server Developer (<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 4</a>)</li><li>▪ Esri Developer Network (EDN) ソフトウェア、Online Services、およびデータ (24、26、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 6</a>)</li><li>▪ Esri File Geodatabase API (47)</li></ul> <p><b>バンドル製品</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>▪ ArcGIS for Transportation Analytics (1、<a href="#">補遺 2、注 2</a>、<a href="#">補遺 2、注 11</a>)</li></ul>
---	--

### 注

1. ライセンスは、ArcGIS for Transportation Analytics に含まれるソフトウェア、データ、および Online Services をフリート運用の直接サポートにのみ使用できる。ArcGIS for Transportation Analytics または ArcGIS for Transportation Analytics を構成する個々のコンポーネントをそれ以外の目的に使用することは許可されない。この制限は、ArcGIS for Transportation Analytics に含まれる ArcGIS Online Organization アカウントには適用されない。ArcGIS Online Organization アカウントは、本ライセンス契約の条件に従い、あらゆる目的に使用できる。

2-7. 保留。

8. ソフトウェアの管理ツールにより、複製を作成しライセンスの組織全体に再配布することができる。
9. ユーザーが開発した ArcGIS for Server 管理ツールは、ライセンスの組織全体にわたって複製を作成できるが、ArcCatalog アプリケーション (ArcGIS for Desktop に含まれている) の複製は作成できない。
10. ライセンシーは、ライセンスがライセンス契約を順守していることを確認する目的で合理的にライセンスのコンテンツに関連する情報またはその他の資料 (クライアント側のアプリケーションのコピーを含む) を要求された場合、それらを提供する。Esri は、ライセンスがライセンス契約を遵守していることを確認する目的でライセンスのコンテンツの外部インタフェース (ポートなど) を監視することができる。ライセンスは、Esri の監視について妨害または介入を行わないが、暗号化技術またはファイアウォールを使用してコンテンツの秘密を保持することができる。ライセンスは、Esri がライセンスのコンテンツや、ライセンスが管理するエンドユーザーの資料に属する Cloud Bundle サービスのあらゆる問題の原因を特定する際に、必要な場合は合理的に協力する。
11. 保留。
12. ソフトウェアは ArcLogistics と併用する際は、ナビゲーション目的での使用のみ許可される。
13. 「二重用途ライセンス」とは、ソフトウェアを 1 台のデスクトップ コンピュータにインストールし、一度にソフトウェアを使用する人数が 1 名の場合に限り、携帯端末 (PDA) またはハンドヘルド モバイル コンピュータと同時に使用することを許可するライセンスである。
14. 保留。
15. デプロイメント ライセンスとして使用が許諾される。インターネットアプリケーションを対象としたデプロイメント ライセンスは、追加ライセンス料の支払いが必要になる場合がある。
16. ライセンシーは、アプリケーションをライセンスのサブライセンスに引き渡すことができる。但し、その場合、ライセンスが、ライセンス契約と同一の範囲で、Esri のソフトウェア、データ、Online Services、およびドキュメンテーションについての Esri の権利を保護するサブライセンス契約を用いることが条件となる。かかる範囲には、次の条件が含まれるが、それに限定されるものではない。
  - a. サブライセンスは、準拠法で認められている範囲を除き、Esri のソフトウェア、データ、Online Services またはドキュメンテーションをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルしてはならないし、商業用途の複製、移転または使用許諾に基づく権利の譲渡も禁止されている。
  - b. サブライセンスは、Esri のソフトウェア、データ、Online Services またはドキュメンテーションの全部またはその一部を使用したり、ライセンスの実行可能なアプリケーションから切り離したりしてはならない。並びに
  - c. 第三者に依存するコンポーネントまたは第三者必須のコンポーネントは、所有者または作成者が許可した場合、再配布できる。

アプリケーションは、Esri へのデプロイメント料の支払いが必要になる場合がある。詳細について、Esri またはライセンスの代理店に問い合わせるものとする。

17. ライセンシーは、Business Objects Crystal Reports ソフトウェアを、すでに取得済みで、かつ Crystal Reports ライセンス契約を締結している ArcView 3.x ソフトウェア (メディアの形で提供されている) と組み合わせただけの場合のみ使用することができる。ライセンスは、レポート要求のキャッシングまたはキューイングにソフトウェア プログラムまたはシステムを使用してはならない。
18. デプロイメント ライセンスとして使用が許諾される。デプロイメント ライセンスは、マシン 1 台、アプリケーション 1 つにつき 1 つである。デプロイメント ライセンスをインターネットまたはサーバ デプロイメントに使用することはできない。デスクトップ アプリケーションを対象としたデプロイメント ライセンスは、追加ライセンス料の支払いが必要になる場合がある。
19. 保留。

20. ライセンシーは、以下のすべての条件を満たした場合、ソフトウェアを複製しデプロイできる。
- a. ソフトウェアは全体として複製し、デプロイする。
  - b. ソフトウェアの各コピーに本ライセンス契約と同一の範囲でソフトウェアを保護するライセンス契約を添付し、かつ受益者は、かかるライセンス契約の条項によって拘束されることに同意する。
  - c. 著作権、および商標の特性/表示が複製される。
  - d. ソフトウェアの使用に帰属する手数料または費用が一切発生しない。
21. 保留。
22. a. ArcGIS Engine for Windows/Linux ライセンスは、インターネット、並びにサーバの開発、およびデプロイメントに使用してはならない。
- b. 1 台のマシン上で ArcGIS Engine アプリケーションを実行する権利を取得するためには、エンドユーザは、ArcGIS Engine for Windows/Linux ソフトウェアまたはその他の ArcGIS for Desktop ソフトウェア (Basic、Standard、Advanced) のいずれかのライセンスを取得しなければならない。
- c. ArcGIS Engine アプリケーションを実行する場合、ArcGIS Engine for Windows/Linux エクステンションを ArcGIS for Desktop ソフトウェアと組み合わせて使用してはならない。単独使用のユーザは、当該エンドユーザのみが使用するマシン 1 台に複数のアプリケーションをインストールすることができる。
23. 保留。
24. EDNソフトウェアは、プロトタイプアプリケーションの調査、開発、試験、立証のみを目的としてのみ使用できる。EDNサーバソフトウェアおよびデータは、指定されたすべてのEDN開発者が使用する目的で複数のマシンにインストールしてもよい。EDN Advancedに付属しているArcGIS Onlineサブスクリプションは、[補遺 3](#)のOnline Services補遺の条件で許可されたとおりに使用できる。
25. 保留。
26. ArcSDE Personal 版ジオデータベースのライセンシーのデータ容量は、最大 10GB に制限される。
27. ArcGIS for Server Web ADF Runtime ソフトウェアは、ライセンシーの ArcGIS for Server Enterprise 構成と切り離してデプロイしてはならない。
28. ArcGIS for Server 以外のアプリケーションの同時使用はエンドユーザ 10 名に制限される。この制約事項には、ArcGIS for Desktop ソフトウェア、ArcGIS Engine ソフトウェア、および ArcGIS for Server ジオデータベースに直接接続する第三者作製アプリケーションの使用が含まれる。ウェブアプリケーションからの接続数に制限はない。
29. ソフトウェアは、サポートされるバージョンの SQL Server Express とのみ使用できる。サポートされるバージョンは、製品のシステム要件とともに Esri ウェブサイトに掲載されている。
30. 使用は、最大 10GB のライセンシーのデータ容量に制限される。
31. ライセンシーはフェイルオーバー操作を行うための冗長 Esri サーバソフトウェアはインストールできるが、かかる冗長ソフトウェアはプライマリ サイトが非稼働状態の間のみ稼働することができる。システムメンテナンス時およびデータベース更新時を除き、冗長ソフトウェアインストールは、プライマリ サイトまたは他の冗長サイトが稼働している間、非稼働状態を維持するものとする。
32. フェイルオーバー操作を行うための冗長ソフトウェアのインストールは許可されない。
- 33–37. 保留。
38. ArcGIS for Server Standard (Workgroup または Enterprise) に含まれている ArcGIS 3D Analyst for Server エクステンションは、グローブ データ キャッシュを作成する場合、または ArcGIS グローブ・サービスとしてグローブ ドキュメンテーションを公開する場合のみに使用できる。ArcGIS for Server Standard では、ArcGIS 3D Analyst for Server エクステンション ソフトウェアを他の用途で使用してはならない。
39. ArcGIS for Server に含まれている編集機能は、ArcGIS for Server Basic (Workgroup または Enterprise) での使用のために許可されていない。
- 40–45. 保留。
46. ライセンシーは、危険もしくは違法と思われる経路提示には従うべきではない。ライセンシーはナビゲーション ソフトウェアを使用する際のリスクをすべて負うものである。
47. ライセンシーは、ライセンシーのエンドユーザに対し、Esri File Geodatabase API を使用するソフトウェアおよびウェブアプリケーションを開発および配布することができる。

48–52. 保留。

53. Esri ArcGIS for Server マップ サービスと IBM Cognos データ パッケージ間の統合された相互通信のみを目的として、十分な数の ArcGIS for Server Enterprise Standard のインスタンスをインストールし、使用することが認められる。Esri ArcGIS for Server Enterprise Standard を他の用途で使用してはならない。

54. ArcGIS for Windows Mobile Deployments は、ArcGIS for Server Enterprise (Advanced または Standard)、ArcGIS for Server Workgroup (Advanced)、ArcGIS for Desktop (Advanced、Standard、Basic)、および ArcGIS Engine アプリケーションとの併用でライセンスされている。

55–58. 保留。

59. ライセンシーは、1 台のマシン上で無限の数のアプリケーションを開発し、購入された ArcGIS Standard または Advanced デプロイメント ライセンスの数を限度として、これをエンドユーザのアプリケーションに引き渡すことができる。ArcGIS Runtime Basic ライセンスには、ライセンス料金およびデプロイ可能なライセンス数の制限はない。

60. a. ArcGIS Runtime SDK ライセンスは、インターネットまたはサーバアプリケーションの開発に使用してはならない。

b. ArcGIS Runtime Standard または Advanced:

(i) 1 台のマシン上で ArcGIS Runtime アプリケーションを実行する権利を取得するためには、エンドユーザは、ArcGIS Runtime ライセンスが含まれるソフトウェア アプリケーションを購入しなければならない。

(ii) 内部使用を目的としてライセンシーが構築した、ArcGIS Runtime を使用するアプリケーションについては、デプロイされるアプリケーションごとに ArcGIS Runtime ライセンスを購入しなければならない。

(iii) 単独使用のユーザは、マシン 1 台に複数の ArcGIS Runtime ライセンス アプリケーションをインストールすることができる。但し、各アプリケーションは ArcGIS Runtime の個別のデプロイメントとする。

61. Oracle は、ソフトウェアに関し、本ライセンス契約に基づく Esri の権利の第三受益者である。但し、本書の当事者ではなく、本書に基づいて一切の義務を負うことはないものとする。

62. Esri およびそのライセンサーは、ライセンシーのソフトウェアの使用について監査を実施する権利を留保する。ライセンシーは、ライセンシーのソフトウェアの使用に関し、合理的な援助および情報へのアクセスを提供するものとする。監査の結果は、Esri のライセンサーに報告されることがある。過剰なデプロイメントまたは過剰な使用に関する料金は、請求日より 30 日以内に支払われるものとする。

63. 保留。

64. ウェブ アプリケーションについては、ライセンシーは、他の Esri 製品と切り離して本製品を使用してはならない。

65. 保留。

66. デスクトップ アプリケーションまたは SharePoint については、各ライセンスは組織ごとのものである。このライセンスの目的では、組織は主要登録固有ドメイン ID と同等のものである。ドメインとはドメイン名登録業者に登録したインターネット ドメイン名のことである。たとえば、example.com という例で、example.com は登録固有ドメイン ID である。同様に、example.com.xx では xx が登録国コードで、example.com.xx が登録固有ドメイン ID である。デスクトップ アプリケーションは主要登録固有ドメイン ID の組織のいかなる社員でも利用できる。組織内で構築し、デプロイできるアプリケーション数に制限はない。

**補遺 2**  
**データ利用規約**  
**(E300-2)**

データ利用規約の補遺(「補遺 2」)では、ライセンシーによるデータの利用規約を規定する。また、ライセンシーの基本ライセンス契約書、または <http://www.esri.com/legal/software-license> に示されるライセンス契約書(「ライセンス契約書」)がある場合には、参照することにより組み込まれるものとする。本補遺 2 はライセンス契約の条件に優先する。Esri は、下記のデータ利用規約を任意に変更する権利を留保する。サブスクリプションによってライセンスされるデータについて、ライセンシーは、規定どおりに、Esri に書面で通知した上でサブスクリプションを取り消すか、データの使用を停止することができる。ライセンシーがデータの使用を継続する場合、ライセンシーはかかる変更を受諾したものとみなされる。データ利用規約は、下記の条件に従うものとする。

<ul style="list-style-type: none"><li>▪ ArcGIS Online データ (1)</li><li>▪ StreetMap Premium for ArcGIS (2)</li><li>▪ StreetMap Premium for Windows Mobile (2)</li><li>▪ StreetMap Premium for ArcPad (2)</li><li>▪ StreetMap Premium for ArcGIS for Transportation Analytics (2、補遺 1、注 1)</li><li>▪ NAVTEQ Traffic Data (11、補遺 1、注 1)</li><li>▪ ArcLogistics データ (2)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ Data Appliance for ArcGIS (3)</li><li>▪ Business Analyst/Location Analytics データ (4、10)</li><li>▪ Demographic、Consumer、および Business データ (「Esri データ」)(5、10)</li><li>▪ Data and Maps for ArcGIS (6)</li><li>▪ Address Coder データ (7、10)</li><li>▪ Sourcebook•America データ (8、10)</li><li>▪ MapStudio データ (9)</li></ul>
--	---

**注**

1. ArcGIS Online データ: この注に言及するソフトウェアおよび Online Services では、ArcGIS Online データへのアクセスが可能である。ArcGIS Online データは、ライセンシーの使用が許可された Esri ソフトウェアおよび Online Services と併用して使用するためのみに提供される。ライセンシーは、下記 URL で認められた条件で、ArcGIS Online 経由でアクセスしたデータを使用できる。
  - a. NAVTEQ データは、[http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9791-navteq\\_use\\_data.pdf](http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9791-navteq_use_data.pdf) に掲載されている利用規約に従うものとする。
  - b. Tele Atlas/TomTom データは、[http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9792-teleatlas\\_use\\_data.pdf](http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9792-teleatlas_use_data.pdf) に掲載されている利用規約に従うものとする。
  - c. I-cubed データは、<http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9946-icubed.pdf> に掲載されている利用規約に従うものとする。
  - d. Microsoft Bing Maps データは、<http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/e-802-bing-mapsvcs.pdf> に掲載されている利用規約に従うものとする。
  - e. BODC bathymetry データは、[https://www.bodc.ac.uk/data/online\\_delivery/gebco/terms\\_of\\_use/](https://www.bodc.ac.uk/data/online_delivery/gebco/terms_of_use/) に掲載されている利用規約に従うものとする。

2. StreetMap Premium for ArcGIS: StreetMap Premium for ArcGIS for Windows Mobile、StreetMap Premium for ArcPad、StreetMap Premium for ArcGIS for Transportation Analytics、ArcLogistics Data: StreetMap Premium データは、マッピング (地図表示)、ジオコーディング (位置情報参照)、単一車両ルーティング (単一車両による経路選択) の目的にのみ使用でき、動的なルーティング (動的な経路選択) についての使用は許可されていない。たとえば、次の操作についてユーザに警告を与えるため (カーブについての警告など) や、カーブを見落とした場合の代替経路の算出などに、StreetMap Premium Data を使用してはならない。StreetMap Premium データを、複数の車両の同期ルーティング (同期経路選択) を行うために使用してはならない。ArcGIS for Desktop、ArcGIS for Server、ArcPad、ArcGIS for Transportation Analytics、または ArcLogistics ソフトウェアで使用するために取得したデータは、データを取得した製品での使用のみが許可されており、他製品での使用は許可されていない。StreetMap for Windows Mobile データは、モバイルデバイス上での使用または ArcGIS for Mobile アプリケーションとの併用のみにライセンスされている。データには、以下のいずれかの情報源から取得したデータが含まれることがある。
  - a. NAVTEQ データは、[http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9791-navteq\\_use\\_data.pdf](http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9791-navteq_use_data.pdf) に掲載されている利用規約に従うものとする。NAVTEQ データでは、StreetMap Premium for ArcGIS for Transportation Analytics での使用についてライセンスされている場合、トラッキング、複数車両のルーティング、および経路の最適化が
  - b. Tele Atlas/TomTom データは、[http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9792-teleatlas\\_use\\_data.pdf](http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9792-teleatlas_use_data.pdf) に掲載されている利用規約に従うものとする。
3. Data Appliance for ArcGIS: Data Appliance で提供されるデータは、以下の追加の利用規約に従うものとする。
  - a. ライセンシーは、北米のデータを Data Appliance for ArcGIS の North America collection でのみ使用することができる。この制限は USA Collection に含まれる縮小率が大きな (縮小率が 1:100,000 以下) 地図、トランスポートレーション層、境界線、プレイス層、1メートル以上の解像度の画像が対象となる。この制限は World Collection で提供される縮小率が小さな (縮小率が 1:100,000 以上) 世界規模および地域規模で表示される地図は対象とならない。
  - b. NAVTEQ データは、[http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9791-navteq\\_use\\_data.pdf](http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9791-navteq_use_data.pdf) に掲載されている利用規約に従うものとする。
  - c. Tele Atlas/TomTom データは、[http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9792-teleatlas\\_use\\_data.pdf](http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9792-teleatlas_use_data.pdf) に掲載されている利用規約に従うものとする。
  - d. I-cubed データは、<http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9946-icubed.pdf> に掲載されている利用規約に従うものとする。
  - e. BODC bathymetry データは、[https://www.bodc.ac.uk/data/online\\_delivery/gebco/terms\\_of\\_use/](https://www.bodc.ac.uk/data/online_delivery/gebco/terms_of_use/) に掲載されている利用規約に従うものとする。
4. Business Analyst データ、Location Analytics データ: Business Analyst データは Esri の Business Analyst (Server、Desktop) で提供される。または、Business Analyst Online および Community Analyst 経由でこのデータにアクセスする。Location Analytics データには、Business Analyst Online API、Community Analyst API、Location Analytics API 経由でアクセスする。データは、以下の追加の利用規約に従うものとする。
  - a. データは、ライセンシーの使用が許可されたソフトウェアと併用して、ライセンシーの業務上の内部使用のためにのみ提供される。Business Analyst データは、個々の Business Analyst エクステンションとの併用に限定されている。Location Analytics データは、Business Analyst Online API、Community Analyst API、Location Analytics API との併用に限定されている。ライセンシーが National データセット (地域、州、区域など) のサブセットとともに Esri Business Analyst または Business Analyst (Canadian Edition)、または Business Analyst Online API、Community Analyst API および Location Analytics API のライセンスを注文した場合、ライセンシーはライセンスされたサブセットのみを使用でき、National データセットの他の部分は使用できない。

- b. Business Analyst (Server, Desktop)、Business Analyst Online API、Community Analyst API、または Location Analytics APIでのライセンスによるCanadian Editionデータの使用は、[Esri Business Analyst \(Canadian Edition\) データ](#) に明記されているデータ使用制限を条件とする。
  - c. Infogroup データは、次の利用規約に従うものとする。「ユーザ」とは、Esri ソフトウェアのエンドユーザを意味する。本ライセンス契約で明示的に承認されているものではない Infogroup データベースの使用は、いかなるものであっても厳しく禁じられている。上記の一般性を制限することなく、ユーザが (i) 第三者の代理としてブランド提携を行うこと、または製品やサービスを提供すること、(ii) Infogroup データベースのサブライセンスまたは再販を行うこと、(iii) メーリングリスト、地理や取引の記録、ビジネスの記録、機密事項、案内広告、または販売、賃借、公開、提供などの方法で第三者に提供された情報の加工物を編集、拡張、検証、補足、追加、または削除を目的として Infogroup データベースを使用したり第三者に使用を許可すること、(iv) 本ライセンス契約で明確に許可されていないサービスまたは製品において Infogroup データベースを使用すること、または第三者を介してそれを提供すること、(v) Infogroup の書面による事前の同意 (かかる同意は Infogroup による単独の裁量により許可または留保される) なくして、逆アSEMBル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、変更、またはその他の方法で Infogroup データベースに修正を加えること、(vi) 直接販売目的で Infogroup データベースを使用することは明示的に禁じられる。
  - d. NAVTEQ データは、[http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9791-navteq\\_use\\_data.pdf](http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9791-navteq_use_data.pdf) に掲載されている利用規約に従うものとする。
  - e. Tele Atlas/TomTom データは、[http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9792-teleatlas\\_use\\_data.pdf](http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9792-teleatlas_use_data.pdf) に掲載されている利用規約に従うものとする。
5. Demographic、Consumer、および Business データ (「Esri データ」): このデータ カテゴリには、Demographic、Consumer、Business、および Tapestry Segmentation などのデータセットが含まれるものとする。本ライセンス契約とこの補遺 2 の条件に従い、ライセンスはあらゆるビジネス目的で Esri Data を使用できる。
  6. Data and Maps for ArcGIS: データは、ArcGIS for Desktop、ArcGIS for Server、ArcGIS Online のライセンスを付与されたユーザが使用できる。Data and Maps for ArcGIS は、ArcGIS for Desktop、ArcGIS for Server、および ArcGIS Online の許可された使用と併用でのみ提供される。
    - a. ライセンシーは、<http://www.esri.com/legal/redistribution-rights> に掲載されている Redistribution Rights Matrix、ヘルプ システムまたはサポートするメタデータ ファイルの説明に従って、本データを再配布することができる。但し、アクセスするデータベースに対する特定の属性説明および要件次第とする。
    - b. StreetMap データは、マッピング (地図表示)、ジオコーディング (位置情報参照)、ルーティング (経路選択) の目的にのみ使用でき、動的なルーティング (動的な経路選択) についての使用は許可されていない。例えば、次の操作についてユーザに警告を与えるため (カーブについての警告など) や、カーブを見落とした場合の代替経路の算出などに、StreetMap USA を使用してはならない。
  7. Address Coder データ: このデータは Address Coder に含まれることがあり、ライセンスが Address Coder の使用を許可されている場合にのみ、ライセンスの内部ビジネスの目的で提供される。
  8. Sourcebook•America Data: このデータは Sourcebook•America に含まれることがあり、ライセンスが Sourcebook•America の使用を許可されている場合にのみ、ライセンスの内部ビジネスの目的で提供される。
  9. MapStudio データ: このデータの使用は、次の利用規約に従うものとする。
    - a. NAVTEQ データは、[http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9791-navteq\\_use\\_data.pdf](http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9791-navteq_use_data.pdf) に掲載されている利用規約に従うものとする。
    - b. Tele Atlas/TomTom データは、[http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9792-teleatlas\\_use\\_data.pdf](http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9792-teleatlas_use_data.pdf) に掲載されている利用規約に従うものとする。
    - c. I-cubed データは、<http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9946-icubed.pdf> に掲載されている利用規約に従うものとする。

- d. Infogroup データは、次の利用規約に従うものとする。「ユーザ」とは、Esri ソフトウェアのエンドユーザを意味する。本ライセンス契約で明示的に承認されているものではない Infogroup データベースの使用は、いかなるものであっても厳しく禁じられている。上記の一般性を制限することなく、ユーザが (i) 第三者の代理としてブランド提携を行うこと、または製品やサービスを提供すること、(ii) Infogroup データベースのサブライセンスまたは再販を行うこと、(iii) メーリングリスト、地理や取引の記録、ビジネスの記録、機密事項、案内広告、または販売、賃借、公開、提供などの方法で第三者に提供された情報の加工物を編集、拡張、検証、補足、追加、または削除を目的として Infogroup データベースを使用したり第三者に使用を許可すること、(iv) 本ライセンス契約で明確に許可されていないサービスまたは製品において Infogroup データベースを使用すること、または第三者を介してそれを提供すること、(v) Infogroup の書面による事前の同意 (かかる同意は Infogroup による単独の裁量により許可または留保される) なくして、逆アSEMBル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、変更、またはその他の方法で Infogroup データベースに修正を加えること、(vi) 直接販売目的で Infogroup データベースを使用することは明示的に禁じられる。
10. ライセンシーは、ハードコピーまたは読み取り専用フォーマット (「アウトプット」) のデータを、第三者向けのプレゼンテーションパッケージ、マーケティング資料、その他のレポートやドキュメントに含めてもよい。ライセンシーは、単独でのアウトプットの再販売または外部への配布は行わないものとする。
11. ArcGIS for Transportation Analytics — NAVTEQ 交通データ オプション: このオンライン データ サービスは、ArcGIS for Transportation Analytics での使用のみを前提としてオプションとして使用できる。このデータの使用は、次の利用規約に従うものとする。
- NAVTEQ 交通データは、[http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9791-navteq\\_use\\_data.pdf](http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/j9791-navteq_use_data.pdf) に掲載されている利用規約に従うものとする。
  - 交通状況に基づく自動ルーティングまたは再ルーティングは、Navigation アドオンなしでは使用できない。
  - NAVTEQ 交通データは、アーカイブすることはできず、エンドユーザの個人的な 24 時間を超えない短期間の使用を目的としてのみ配信できる。
  - NAVTEQ 交通データは、FM/AM/HD ラジオ放送、テレビ放送、または RDS 配信方法による表示または放送に使用してはならない。
  - NAVTEQ 交通データは、電話で音声による交通情報を提供する交通システムにおいて使用または導入してはならない。
  - NAVTEQ 交通データは、その一部を利用した音声変換機能付き電子メール警告/メッセージアプリケーションまたはボイス メールアプリケーションを開発または販売する目的に使用してはならない。

### 補遺 3 Online Services 補遺 (E300-3)

Online Services補遺(「補遺 3」)では、ライセンシーによるOnline Servicesの利用規約を規定する。また、ライセンシーの基本ライセンス契約書、または <http://www.esri.com/legal/software-license> に示されるライセンス契約書(「ライセンス契約書」)がある場合には、参照することにより組み込まれるものとする。本補遺 3はライセンス契約の条件に優先する。Esriは、本利用規約を適宜修正する権利を留保する。補遺 3の [第1節](#)には、すべてのOnline Servicesに適用される条件を規定する。[第2節](#)には、特定のOnline Servicesに適用される共通の条件を規定する。

#### 第1節 — Online Services の共通利用規約

##### 第1条 定義

ライセンス契約での定義に加え、以下の定義を本補遺 3に適用する。

- a. 「匿名ユーザ」とは、指定ユーザの資格は持たないが、Online Servicesにおいて制限されたアクセスを許可された個人をいう。
- b. 「API」とは、アプリケーションプログラミング インタフェースをいう。
- c. 「ArcGISウェブサイト」とは、<http://www.arcgis.com> および関連または後継するあらゆるウェブサイトをいう。
- d. 「コンテンツ」とは、データ、イメージ、写真、アニメーション、ビデオ、オーディオ、テキスト、地図、データベース、データモデル、スプレッドシート、ユーザインタフェース、ソフトウェアアプリケーション、および開発者ツールをいう。
- e. 「開発者ツール」とは、ソフトウェア開発キット (SDK)、API、ソフトウェア ライブラリ、コードサンプル、その他のリソースをいう。
- f. 「指定ユーザ」とは、ライセンシーの従業員、代理店、コンサルタント、請負業者をいう。Education Plan アカウントの場合は登録された学生を含む。「指定ユーザ」は、ライセンシーの独占的便益のために、ライセンシーの ArcGIS Online アカウントを使用した Online Services へのアクセスをライセンシーが許可し、一意の個別のユーザ名およびパスワードと明示的にリンクされる。「指定ユーザ」は、匿名ユーザがアクセスできない Online Services の機能にアクセスできる。指定ユーザによる Online Services の機能へのアクセスは、特定の Online Services に対して定義され、該当する注文関連ドキュメントまたは他の製品ドキュメンテーションに記載された、指定ユーザの種類によって制約されることがある。
- g. 「オンライン コンテンツ」とは、Online Services の一部として Esri がホストまたは提供するコンテンツをいう。マップサービス、タスクサービス、画像サービス、開発者ツールは含まれるが、ライセンシーが Online Services を通じてアクセスする第三者提供のコンテンツは含まれない。
- h. 「サービス コンポーネント」とは、Online Services、オンライン コンテンツ、ArcGIS ウェブサイト、開発者ツール、ドキュメンテーション、または関連資料をいう。
- i. 「ライセンシーのコンテンツ」とは、Online Services の使用、Online Services でのライセンシーのコンテンツの使用によって生じた結果、開発者ツールを使用してライセンシーが構築したアプリケーション、Online Services でデプロイしたものに關連して、ライセンシーまたはライセンシーの指定ユーザが Esri に送信したコンテンツをいう。製品の改良に關してライセンシーが Esri に提供したフィードバック、提案、または要求は、ライセンシーのコンテンツから除外される。
- j. 「付加価値アプリケーション」とは、ライセンシーの ArcGIS Online アカウント経由で使用可能な開発者ツールおよび Online Services を利用して開発され、ライセンシーのエンドユーザにネイティブな Online Services を直接公開しない機能を含んでいるアプリケーションをいう。ライセンシーにおいては、Esri からライセンシーに提供された機能と実質的に類似または同等のネイティブな Online Service 機能を公開することは禁止されている。

- k. 「Web Services」とは、ライセンシーが既にライセンス契約書に同意している場合、Online Services と Online Services によって提供されるあらゆるコンテンツをいう。

## 第 2 条 — Online Services の使用

**2.1 Online Services の使用許諾** — Esri は、(i) 該当するライセンス料が支払われ (必要な場合)、(ii) ライセンシーおよびライセンシーの指定ユーザまたは匿名ユーザ (該当する場合) によるライセンシーの内部使用のために、(iii) 本ライセンス契約書および Esri の許諾によりファイリングされているライセンス構成に基づいて、該当する注文関連ドキュメントに規定された Online Services にアクセスして使用する個人的、非独占的、譲渡不能なワールドワイドライセンスをライセンシーに許諾する。

**2.2 Online Services のサブスクリプションの提供** — Online Services のサブスクリプションについて、Esri は以下を行うものとする。

- a. ドキュメンテーションに従って、ライセンシーに Online Services を提供する。
- b. Esri の標準的なカスタマー・サポートポリシーに従ってカスタマー・サポートを提供し、ライセンシーが購入した追加のサポートを提供する。
- c. Online Services からライセンシーに対して悪意のあるコードが送信されることのないように、商業的に相応の努力を払う。但し、ライセンシーのアカウントまたは第三者のコンテンツを介して Online Services に組み込まれた悪意のあるコードについて、Esri は一切の責任を負わないものとする。

**2.3 ライセンシーの責任** — ライセンシーのアカウントを経由して Online Services へのアクセスが承認されるのは、ライセンシーおよびライセンシーの指定ユーザまたは匿名ユーザ (該当する場合) のみである。指定ユーザのログイン資格情報は、特定の指定ユーザのみが使用でき、複数の個人が共有することはできない。既存のユーザが Online Services にアクセスする必要がなくなった場合は、指定ユーザのログイン資格情報を新しい指定ユーザに再割り当てすることができる。ライセンシーおよびライセンシーの指定ユーザは、認証コード、アクセスコード、指定ユーザのログイン資格情報、または Online Services へのアクセスを可能にする他の手段の機密を保持し、第三者がライセンシーのアカウントに許可なくアクセスすることのないようにすることについて、一切の責任を負う。ライセンシーは、ライセンシーのアカウントの不正使用またはその他の機密保持違反に気づいた場合、直ちに Esri に通知するものとする。

**2.4 Online Services 使用時の禁止事項** — ライセンス契約書で禁止された使用に加えて、(i) Online Services への不正アクセスを試みること、または他者による Online Services への不正アクセスの試みを幫助すること、(ii) ジャンクメール、攻撃的または中傷的な内容の資料を送信するようなスパム行為を目的として Online Services を使用すること、ストーカー行為または身体的危害の恐れを抱かせるような行為を行うこと、(iii) Online Services を使用して、マシンのソフトウェア、ハードウェア、通信機器の機能を中断、停止、制限させるためのソフトウェアウイルス、ワーム、タイムボム、トロイの木馬、その他のマシンコード、ファイル、またはプログラム等 (「悪意のあるコード」) を送信すること、(iv) Online Services の類似サービスの構築または商業利用を行うために Online Services を模倣、再構築、または表示すること (Online Services が同様の機能を有効にしている場合を除く)、(v) Online Services から取得したクライアント側のデータ キャッシュを他のライセンスを持つエンドユーザまたは第三者と共有すること、(vi) Online Services から取得したクライアント側のデータ キャッシュを第三者に配布すること、(vii) Online Services に含まれる情報およびデータを手動またはシステム的に取り入れること、(viii) ArcGIS Online マップサービス、ジオコーディングサービス、またはルーティングサービスを、車両のナビゲーション、現在位置の確認、発送、リアルタイムのルートガイダンス、フリート管理、または同様のアプリケーションの機能に接続するか、または通信を行う、インストール済みの製品、システム、アプリケーションを併用すること、(ix) Online Services の一部を市販の製品またはサービスに組み込むこと (かかる市販の製品が Online Services に重要な機能を追加する場合を除く) も行ってはならない。

**2.5 評価** — Esri は、ライセンサーが内部的に評価を行う目的で特定のサービスを使用することについて、ライセンスを付与することができる。かかるライセンスは、規定された評価期間が満了するか、ライセンサーがサブスクリプションを購入するか、いずれかが最初に到来するまで継続する。ライセンサーが、評価期間が満了する前にライセンサーの評価ライセンスをサブスクリプションに変更しない場合、評価期間中にライセンサーがアップロードまたは作成したコンテンツおよびカスタマイゼーションはすべて永久に失われる。ライセンサーがサブスクリプションの購入を希望しない場合、ライセンサーは、ライセンサーの評価期間が満了する前にかかるコンテンツをエクスポートする必要がある。

**2.6 Online Services の変更** — Esri は Online Services および関連 API をいつでも変更、修正、廃止、中止する権利を留保する。必要に応じて、Esri は変更について事前通知を行う。Esri は、廃止された API について、最長 6 か月間のサポートを提供するように努める。但し、法律上、財務上、または技術上の理由がある場合には、サポートは提供しない。

**2.7 属性** — ライセンサーが、ArcGIS Online Services のいずれの使用においても、Esri またはそのライセンサーのロゴ、その他の属性を削除することは許可されない。

### 第 3 条 — 契約期間、および契約解除

以下は、ライセンス契約書の第 5 条 — 契約期間、および契約解除を補完する。

**3.1 サブスクリプションの期間** — サブスクリプションの期間は、購入時の注文関連ドキュメント、またはかかるドキュメントに記載される Online Services の説明で提示される。

**3.2 サブスクリプション料金の変更** — 月間サブスクリプション料金は、30 日前の通知を行うことで引き上げ可能とする。Esri は、現期間の満了日の 60 日前までにライセンサーに通知することで、満了日までに 1 か月以上の残っている契約期間について、かかる期間中のサブスクリプション料金を引き上げることができる。

**3.3 サービスの不通** — Online Services についてのライセンサーのアクセス (ライセンサーの顧客に代わって行うアクセスを含む) および利用は、システム障害や Esri またはその関連会社の合理的な管理が及ばないその他の状況を含む、不測のダウンタイムまたは Online Services のすべてもしくは一部が利用できなくなる状態のために、事前の通知なく、一時的に停止されることがある。

**3.4 サービスの停止** — Esri およびその関連会社は、(a) ライセンサーがライセンス契約に違反し、ライセンサーの使用限度を超え、本補遺の第 5 条に規定する Online Services の継続使用をサポートするのに十分な追加のライセンス容量を購入しない場合、(b) ライセンサーによる Online Services の使用が Online Services の完全性、機能性、または有用性に悪影響を及ぼすか、ライセンサーのアカウントを停止しないことで Esri およびそのライセンサーが法的責任を負うことになるに足る根拠がある場合、(c) Online Services のメンテナンスまたは修正を目的とす計画的ダウンタイム、(d) Online Services に対する脅威や攻撃 (サービス妨害攻撃を含む) が発生した場合、または Online Services の一部に危険が発生するおそれがある場合、または (e) Esri またはその関連会社が、Online Services (またはその一部) が法律で禁止されていると判断するか、法律上または規制上の理由のために禁止されていると判断することが必要または賢明である場合、ライセンサーに対していかなる責任も負うことなく、Online Services のすべてまたは一部に対するアクセスをいつでも一時停止する権利を有するものとする。正当な理由となる状況下では、ライセンサーはサービスの停止について事前に通知を受け取り、是正措置を講じるための合理的な機会が与えられる。

**3.5** Esri は、サービスの不通またはサービスの一時停止の結果としてライセンサーまたはライセンサーの顧客が被る可能性のある損害、責任、損失 (データまたは利益の損失を含む)、またはその他の結果について一切の責任を負わない。

## 第4条 — ライセンシーのコンテンツ、フィードバック

**4.1 ライセンシーのコンテンツ** — ライセンシーは、ライセンシーのコンテンツの開発、運用、および保守ならびにおよびライセンサーのコンテンツに関連するあらゆる資料について、単独で責任を負うものとする。ライセンシーは、ライセンシーのコンテンツについてすべての権利、権原、利益を留保する。ライセンシーは、ライセンシーによる Online Services の使用を有効にする目的のためだけに、ライセンシーのコンテンツをホスト、実行、および複製する非独占的、譲渡不能なワールドワイドな権利を Esri およびそのライセンサーに付与する。ライセンシーの許可なしに、Esri がライセンシーのコンテンツに対するアクセス、使用、開示を行うことはない。但し、ライセンシーによる Online Services の使用のサポート、カスタマー サービスを行うためのライセンシーからの要請への対応、ライセンシーのアカウントのトラブルシューティング、またはライセンシーの書面による承認を得たその他の目的のためなど、合理的に必要と判断される場合を除く。ライセンシーが第三者提供のアプリケーションを使用して Online Services にアクセスする場合、Esri はアプリケーション、Online Services、およびライセンシーのコンテンツの相互運用を可能にするため、必要に応じてライセンシーのコンテンツを開示できる。Esri は法律の定めるところにより、または裁判所あるいは政府機関の命令に従って、ライセンシーのコンテンツを開示することがある。この場合、Esri は開示範囲を限定するための合理的な試みを行う。ライセンシーのコンテンツが Online Services での使用、および Online Services のエクスポートおよびダウンロード機能を使用した定期的なオフラインバックアップの保守に適したものにしておくことはライセンシー側の責任となる。

**4.2 ライセンシーのコンテンツの削除** — ライセンシーは、ライセンシーがライセンス契約を順守していることを確認する目的で Esri から合理的に要求された場合、ライセンシーのコンテンツに関連する情報および/またはその他の資料を提供する。ライセンシーのコンテンツの一部に、Online Services へのアップロードまたは Online Services での使用により本ライセンス契約に違反が生じると信じるに足る根拠がある場合、Esri はライセンシーのコンテンツのかかる部分を除去または削除できる。妥当な場合、ライセンシーのコンテンツが削除される前に、Esri はライセンシーに通知を行う。Esri の著作権ポリシー ([http://www.esri.com/legal/dmca\\_policy](http://www.esri.com/legal/dmca_policy)) に従い、Esri は、デジタルミレニアム著作権法に基づいた削除要請に応じるものとする。

**4.3 ライセンシーのコンテンツの共有** — Online Services および ArcGIS ウェブサイトには、ライセンシーがライセンシーのコンテンツを第三者が利用できるようにするための公開機能(「共有ツール」)が含まれる。ライセンシーは本ライセンス契約書によって、Online Services を通じてライセンシーのコンテンツを使用、保存、キャッシュ、コピー、複製、(再)配布、(再)送信する権利およびライセンスを、かかる共有ツールを使用してライセンシーのコンテンツの共有を可能とする、ライセンシーが選択した第三者に付与する。但し、かかる権利およびライセンスは、ライセンシーがライセンシーのコンテンツを提供するときの利用規約およびアクセス制限に従うものとする。ESRI は、ライセンシーの指定ユーザによるかかる共有ツールまたは他のサービス コンポーネントの誤用に起因する、ライセンシーのコンテンツの紛失、削除、変更、または開示について一切の責任を負わない。ライセンシーによる共有ツールの使用は、ライセンシーの自己責任で行うものとする。

**4.4 契約終了におけるライセンシーのコンテンツの回収** — ライセンス契約、試用、評価、またはサブスクリプションが終了した場合、ライセンシーがより短い期間を要請した場合または法律で禁止される場合を除き、Esri は、ライセンシーが 30 日間にわたり、ライセンシーのコンテンツをダウンロードできるようにするものとする。この期間が経過した後は、Online Services を使用してライセンシーのコンテンツに対するアクセスや使用を行うライセンシーの権利は消滅し、Esri はライセンシーのコンテンツを保管または返却する義務を負わない。

## 第5条 — Online Services、サービス クレジット使用時の制限事項

Esri は、ライセンサーが Online Services で使用できる Online Services に制限を設けることができる。これらの制限は、サービス クレジットによって制御される。サービス クレジットはライセンサーのアカウント経由で利用された ArcGIS Online Services の量の計算に使用される。ライセンサーの ArcGIS Online アカウントに提供されるサービス クレジットの最大量は、該当する注文関連ドキュメントに記載される。Esri は、ライセンサーのサービスの利用が、ライセンサーのサブスクリプションでライセンサーに割り当てられたサービス クレジットの約 75% に達すると、ライセンサーのアカウント管理者に通知する。Esri は、消費がライセンサーのサブスクリプションに割り当てられたサービス クレジットの 100% に達したときにライセンサーのアカウントを停止する権利を留保する。ライセンサーによるサブスクリプションアカウントに対する追加のサービス クレジットの購入トランザクションが完了すると、直ちにライセンサーのアカウントへのアクセスが回復される。

## 第6条 — オンライン コンテンツ、第三者のコンテンツおよびウェブサイト

**6.1 オンライン コンテンツ** — ArcGIS Online データは、Online Services のコンポーネントとして含まれ、本ライセンス契約の条件に基づいて使用が許諾される。

**6.2 第三者のコンテンツおよびウェブサイト** — Online Services および ArcGIS ウェブサイトには、第三者のウェブサイトへの参照またはリンクが含まれる場合や、または、ライセンサーが第三者のコンテンツに対してアクセス、表示、使用、およびダウンロードできるようにする場合がある。本契約は、ライセンサーが第三者のコンテンツを使用することに言及するものではなく、ライセンサーは第三者のコンテンツを使用するためには別のまたは追加の条件への同意を求められることがある。Esri はこれらのウェブサイトの管理を行うものではなく、その運用、コンテンツ、可用性について責任を負わない。ライセンサーによる第三者のウェブサイトおよびコンテンツの使用については、いかなる種類の保証も行われず、現状のまま、ライセンサーが自己責任で行うものとする。Online Services に表示される第三者のウェブサイトおよびリソースへのリンクまたは参照は、いかなる種類の承認、提携、後援をも暗示するものではない。

## 第7条 — ライセンサーによる保証

ライセンサーは、ライセンサーのコンテンツまたはドキュメンテーションで Esri によって指定されていない製品、プロセス、システムと組み合わせた Online Services の利用が (i) 第三者の知的財産権または所有権を侵害または不正使用するものではなく、(ii) 第三者のプライバシー権利またはその他の準拠法を侵害するものではなく、(iii) 悪意のあるコードを含むか、または第三者に悪意のあるコードを送信するものではないことを保証する。準拠法によって禁止される場合を除き、ライセンサーは、上記の保証の違反から生じる申し立て、訴訟、債務、または請求について、Esri を擁護し、補償し、また Esri に何らの損害も与えないことに同意する。

## 第2節 — 特定 Online Services の利用規約

特定の Online Services は、下記の条件に従うものとする。

<ul style="list-style-type: none"><li>▪ ArcGIS Online (1、2、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 6</a>)</li><li>▪ Business Analyst Online (3、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 4</a>)</li><li>▪ Business Analyst Online Mobile (3、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 4</a>)</li><li>▪ Esri Business Analyst Online API for Adobe Flex、Microsoft Silverlight、SOAP、REST (5、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 4</a>)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ Community Analyst (3、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 4</a>)</li><li>▪ Esri Community Analyst API for Adobe Flex、Microsoft Silverlight、SOAP、REST (5、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 4</a>)</li><li>▪ Esri Location Analytics API for Adobe Flex、Microsoft Silverlight、SOAP、REST (5、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 4</a>)</li><li>▪ Redistricting Online (2、<a href="#">補遺 2、注 1</a>)</li><li>▪ MapStudio (2a、4、<a href="#">補遺 2、注 1</a>、<a href="#">補遺 2、注 9</a>)</li></ul>
--	---

### 注

1. Online Services に適用される共通の条件に加えて、以下の条件を規定する。

- a. ライセンシーは、ライセンシーの ArcGIS Online アカウントを使用し、ライセンシーの ArcGIS Online アカウント経由で使用可能な ArcGIS Online 開発者ツールおよびサービスを利用して、ライセンシーの内部使用を目的とする付加価値アプリケーションを構築できる。
- b. ライセンシーは、下記条件を前提として、ライセンシーの付加価値アプリケーションへのアクセスを第三者に提供することもできる。
  - i. ライセンシーは、ライセンシーの付加価値アプリケーションに対する匿名のユーザ アクセスを許可できる。
  - ii. ライセンシーは、ライセンシーの付加価値アプリケーションへの第三者によるアクセスを許可することを目的として、ライセンシーの ArcGIS Online アカウントに対して第三者を指定ユーザとして追加することはできない。この制約事項は、指定ユーザの項で定義した第三者には適用されない。
  - iii. ライセンシーは、ライセンシーの付加価値アプリケーションを経由するのではなく、ライセンシーの ArcGIS Online アカウントを通して使用できる ArcGIS Online Services へのアクセス権を第三者に提供することはできない。この制約事項は、指定ユーザの項で定義した第三者には適用されない。
  - iv. ライセンシーは、第三者がライセンシーの付加価値アプリケーションにアクセスすることで、ライセンシーの ArcGIS Online アカウントを通して生じる一切の料金について責任を負うものとする。これには、第三者による Online Services の使用をサポートするために必要なサービスクレジット、および Online Services の追加のサブスクリプション料金 (必要な場合) が含まれる。
  - v. ライセンシーは、ライセンシーの付加価値アプリケーションに関するテクニカルサポートを提供することについて単独で責任を負うものとする。
  - vi. ライセンシーは、本ライセンス契約の条件により、必要に応じて第三者による Online Services の使用に制限を設けるものとする。

c. ArcGIS Online ELA および Organization Plan のアカウントについて:

i. ライセンシーは下記についても許可されるものとする。

- (1) 本ライセンス契約の条件に従うことを前提に、ライセンシーの付加価値アプリケーションへの第三者によるアクセスについて追加の料金を課すこと。
- (2) 以下を前提として、ライセンシーの付加価値アプリケーションを第三者の ArcGIS Online アカウントに譲渡すること。
  - (a) ライセンシーは、ライセンシーの付加価値アプリケーションの料金を第三者に課すことができる。
  - (b) ライセンシーは、ライセンシーの付加価値アプリケーションとは関連のない、第三者による ArcGIS Online アカウントの一般的な使用にサポートを提供することについて、義務を負わない。
  - (c) ライセンシーは、第三者の ArcGIS Online アカウントに譲渡された、または実装されたライセンシーの付加価値アプリケーションについて、第三者による使用によって生じた料金について一切の責任を負うものではない。
  - (d) ライセンシーは、ArcGIS Online Public Plan のライセンシーにプライベート グループへの参加を勧めることはできない。この制限は、Education Plan アカウントおよび NPO/NGO Plan アカウントのライセンシーにも適用される。

d. ArcGIS Online Public Plan アカウント、Education Plan アカウント、および NPO/NGO による ArcGIS Online Organization アカウントの使用について、ライセンシーは、ライセンシーの付加価値アプリケーションへの第三者によるアクセスについて追加の料金を課すことはできない。また、付加価値アプリケーションのデプロイメントまたは使用の結果として副次的な広告収入以外の収益を得ることは許可されない。ライセンシーの付加価値アプリケーションへのアクセスに対して課金する場合、または副次的な広告収入以外の収益を得る場合は、ArcGIS Online ELA または Organization Plan のアカウントが必要である。

e. ArcGIS Online Public Plan アカウント:

i. Public Plan アカウントは、個人による私的な利用についてライセンスされる。営利企業または政府機関の便益を目的とした Public Plan アカウントの個人による使用は、いかなるものであっても禁じられている。

- この制限は、教育目的のみに使用する教育機関、認定された NGO/NPO 組織、および報道機関には適用されない。これら特定の種類の組織に所属する個人は、所属組織の便益を目的として ArcGIS Online Public Plan アカウントを使用できる。

ii. Public Plan アカウントのライセンシーは、プライベート グループを作成したり、ArcGIS Online Organization、Education、NGO/NPO、または ELA Plans のライセンシーが作成したプライベート グループに参加したりすることはできない。

f. ライセンシーは、第三者のためにまたは第三者に代わって ArcGIS Online アカウントのライセンシーとなることはできない。

- この制限は、所属する登録済み学生に代わって教育目的のみに ArcGIS Online Public Plan アカウントをライセンスすることを許可された教育機関には適用されない。教育機関は、教育目的に使用する場合に限り、1つの ArcGIS Online Public Plan アカウントへのアクセスを複数の登録済み学生に提供することもできる。

- g. 「Online ELA アカウント」、「Organization Plan アカウント」、「Public Plan アカウント」、および「Education Plan アカウント」という用語は、それぞれ異なる種類の ArcGIS Online アカウントを意味する。

## 2. ArcGIS Online コンテンツおよびタスク サービスの利用規約:

- a. 以下に挙げる ArcGIS Online コンテンツおよびタスク サービスには、ArcGIS Online Organization Plan の有料のサービス クレジットの消費は適用されない。これらのサービスの利用には、以下に示す所定の最大利用限度までは (特に断りのない限り) 料金はかからないものとする。所定の利用量を超えてこれらのサービスを使用した場合は、追加料金が求められる。これらのサービスは、ArcGIS ソフトウェアまたは ArcGIS Online アカウントとの併用のみで許可される。
- i. マップ サービス、画像 サービス、ジオメトリ サービス: ライセンシーは、これらのサービスを、本利用規約と一貫性のある如何なる用途にも供することができる。但し、12 か月間に 5 千万 (50,000,000) のトランザクションの上限を超えないものとする。「トランザクション」は、ArcGIS Online コンテンツ リソース センター (<http://links.esri.com/agol/transactiondef>) にあるドキュメンテーションに定義される。
  - ii. スタンダード タスク サービス (<http://tasks.arcgisonline.com>): ライセンシーは、これらのサービスを本利用規約と一貫性のある如何なる用途にも供することができる。但し、下記の規約に従うものとする。
    - Standard Geocoding サービス: ライセンシーは、これらのサービスを検索機能にのみ使用できる。検索結果は後から使用する目的で保存できないものとする。検索結果を後から使用するために保存する場合は、サブスクリプションが求められる。
    - Standard Routing サービス: ライセンシーは、12 か月間に 5 千 (5,000) のルーティング要求 (ドキュメンテーションに定義) の上限を超えないものとする。
  - iii. サブスクリプション タスク サービス (<http://premiumtasks.arcgisonline.com>): 適用される料金をライセンシーが Esri に支払った時点で、ライセンシーは、これらのサービスを本利用規約と一貫性のある如何なる用途にも供することができる。ライセンシーは、検索結果を後で使用する目的で保存できないものとする。
  - iv. サンプル サービス: ライセンシーは、内部評価および開発目的にのみ、これらのサービスを利用できる。ArcGIS Online Services のすべてのライセンスは本利用規約に従うものとし、追加の制約事項または要件はドキュメンテーションに規定されるものとする。

以下に挙げる ArcGIS Online Services には、ArcGIS Online Organization Plan の有料のサービス クレジットの消費は適用されない。

ArcGIS Online World Geocoding サービス (<http://geocode.arcgis.com>): ライセンシーはこのサービスを無料で検索機能に使用できる。但し、検索結果は後から使用する目的で保存できないものとする。ArcGIS Online サブスクリプションまたはサービス クレジットの支払いを行った場合、ライセンシーはジオコードをバッチし、後から使用する目的で検索結果を保存できる。

3. ライセンシーは、ライセンシーの外部のウェブサイトに対し、100 以上の Esri Business Analyst Online または Community Analyst レポートや地図を任意に組み合わせて掲載または投稿できないものとする。
4. ライセンシーは、[補遺 2](#)、[注 1](#)に記載された、ArcGIS Online データに関する制限に従い、報道を目的として、ハードコピーまたは静的な電子形式で地図を作成、公表、および配布できる。

5. ライセンシーは、ライセンシーのソフトウェアまたはウェブアプリケーションのエンドユーザに対し、レポートおよびレポートから求められた静的な電子地図に関するアクセス、照会、作成、表示、および再配布を行うことを目的として、**Business Analyst Online API**、**Community Analyst API**、または**Location Analytics API**を使用するソフトウェアおよびウェブアプリケーションを開発することができる。ライセンシーが匿名ユーザサブスクリプションを持っている場合、ライセンシーは、ライセンシーが支払った分のレポートの数を上限として、ライセンシーの付加価値アプリケーションに対する匿名エンドユーザアクセスを許可できる。ライセンシーのソフトウェアまたはウェブアプリケーションのエンドユーザは、レポートおよび地図を社内目的のみに利用できるものとし、それ以上の再配布は行わないものとする。「レポート」は、**Business Analyst Online API**、**Community Analyst API**、または**Location Analytics API**製品で作成された書式が設定された出力をいい、PDF、CSV、Excel、HTML、XML形式を含む。ライセンシーは、ベクター形式でのデータの再配布は行わないものとする。ライセンシーおよびライセンシーのエンドユーザが、**Business Analyst Online API**、**Community Analyst API**、または**Location Analytics API**の代わりとして、**Business Analyst Online API**、**Community Analyst API**、または**Location Analytics API**によって生成されたレポートその他の出力を使用することは禁じられる。これには、(i) 1つ以上のファイルまたはデータベースの出力を組み合わせ、包含すること、(ii) かかる出力をマルチユーザマシンアプリケーションで利用できるようにすることを含むが、これに限定されない。明確にするために、エンドユーザは内部使用を目的としてレポートをローカルに保存できる。**Business Analyst Online API (Canadian Edition)**、レポートおよびデータを使用して開発された公開アプリケーションは、静的な形式でのみ(JPEG、PDFなど)生成またはエクスポートできる。但し、ライセンシーは、ライセンシーのアプリケーションで**Canadian Edition**レポートをCSV、XML、HTML、XLSファイル、またはファイルのコンテンツを容易に抽出または操作できるようなその他の形式にエクスポートできないようにしなければならない。ライセンシーは、ライセンシーの付加価値アプリケーションに関するテクニカルサポートを提供することについて単独で責任を負うものとする。

**補遺 4**  
**限定された使用を目的としたプログラム**  
**(E300-4)**

この限定された使用を目的としたプログラムの補遺（「補遺 4」）はライセンシーが、EsriまたはEsriの認定代理店により以下に説明するプログラムへの参加を認められている場合に適用される。本補遺 4は、ライセンシーの基本ライセンス契約書、または <http://www.esri.com/legal/software-license> に示されるライセンス契約書（「ライセンス契約書」）がある場合には、参照することにより組み込まれるものとする。本補遺 4はライセンス契約の条件に優先する。Esri は、本利用規約を適宜修正する権利を留保する。

<ul style="list-style-type: none"><li>▪ 教育プログラム (1)</li><li>▪ グラント プログラム (2)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▪ Home Use プログラム (3)</li><li>▪ その他の Esri の限定された使用を目的としたプログラム (4)</li></ul>
--	--

**注**

1. 教育プログラム: ライセンシーは、教育上使用する期間中は、製品を教育上の目的にのみ使用することに同意する。ライセンシーは、管理利用のための期間限定ライセンスを取得しない限り、製品を管理上の目的で使用しないものとする。ライセンシーは、製品を収益創出または営利目的のために使用しないものとする。
2. グラント プログラム: ライセンシーは、製品を Esri グラント ドキュメントに指定された非営利目的のみに使用できる。ライセンシーは、製品を収益創出または営利目的のために使用しないものとする。
3. ArcGIS for Home Use プログラム:

- a. すべての ArcGIS for Home Use プログラム製品は、期間限定ライセンスとして提供され、Esri の Home Use プログラムのウェブサイト (<http://www.esri.com/software/arcgis/arcgis-for-home>) またはライセンシーの認定代理店のウェブサイトに規定される。
- b. Esri は、(i) 該当するライセンス料を支払った本製品について、(ii) ライセンシーの非営利的な内部使用で、(iii) 本ライセンス契約書とライセンシーが注文した構成ならびに Esri およびその認定代理店が許可した構成に基づいて、(iv) 本ライセンス契約に基づいて早期に中止されない限りは 12 か月間、該当する注文関連ドキュメントの規定に従って ArcGIS for Home Use プログラムで提供される本製品を使用する個人的、非独占的、かつ譲渡不能な単独使用ライセンスをライセンシーに許諾する。「非営利」とは、(i) いかなる報酬も受け取らない、(ii) いかなる商業利用または報酬を目的とする製作も意図しない、(iii) 商業サービスの提供を目的としない、(iv) 使用許諾をうけた製品と同様に業務をして商業的に使用し、適用し、または利益活用に関わるいかなる個人または団体の指示または資金提供を受けていない、私的または個人的立場での利用をいう。
- c. **インストールサポート** ArcGIS for Home Use には 90 日間のインストール サポートが含まれる。Esri または認定代理店のウェブサイトに記載のとおり、Esri は特定の問い合わせに対してテクニカル サポートを提供する。インストールサポートは、修正が加えられていないソフトウェアにのみ適用される。ソフトウェアは、ソフトウェアのドキュメンテーションに記載の Esri のサポートする標準のハードウェアプラットフォームおよびオペレーティングシステムにのみ提供される。Esri は標準外またはカスタムのアプリケーションのインタフェースのアップデートについて、実行または調整する責任を負わない。

Esri のインストールサポートは、Esri のウェブサイトのドキュメント「Esri ArcGIS for Home Use Installation Support」 (<http://www.esri.com/~media/Files/Pdfs/legal/pdfs/home-use-installation-support.pdf>) に従って提供される。Esri は、Esri ソフトウェアのインストールに関してのみサポートを提供する。Esri のサポートの詳細は、ウェブサイト (<http://support.esri.com/en/support>) に掲載されるものとする。認定代理店の提供するサポートは、代理店のテクニカルサポートプログラムの条件に基づくものとする。

4. その他の Esri の限定された使用を目的としたプログラム: ライセンシーが上記以外の限定された使用を目的としたプログラムの下で本製品を取得した場合、ライセンシーによる本製品の使用は、本補遺 4 の条件に相反しない条件に加え、Esri のウェブサイトの最初のページ、または掲載や登録フォームに規定されている条件に従うものとする。かかるプログラムの条件はすべて、参照することにより本補遺に組み込まれるものとする。